

## <株式会社エフエム東京 第392回放送番組審議会>

1. 開催年月日:平成 24 年 10 月 2 日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数 7 名(社外 7 名 社内 0 名)

### ◇出席委員(5名)

青 池 慎 一 委員長	横 森 美 奈 子 副委員長
内 館 牧 子 委員	西 田 善 太 委員
秋 元 康 委員	

### ◇欠席委員(2名)

渡 辺 貞 夫 委員  
香 山 リ カ 委員

### ◇社側出席者(9名)

唐 島 専務取締役  
黒 坂 常務取締役 編成制作局長  
石 井 常務取締役  
平 取締役営業局長  
藤 取締役マルチメディア放送事業本部長  
長 澤 常勤監査役  
延 江 編成制作局ゼネラルプロデューサー  
森 田 編成制作局局次長 兼 編成制作部長  
植 田 編成制作局 編成制作部プロデューサー(オブザーバー)

### ◇社側欠席者(1名)

富木田 代表取締役社長

**【事務担当 森田放送番組審議会事務局長】**

4. 議題: 番組試聴 (約 14 分)

『おふたりさま』

毎週日曜 15:30～15:55

## 《議事内容》

### 議題1:最近の活動について

#### ◎10代限定ロックフェス「閃光ライオット」、2012年も開催!

今年で5周年を迎える『閃光ライオット』は、TOKYO FM系の10代向け人気番組「SCHOOL OF LOCK!」と、Sony Music、KDDIが共同で主催する10代限定に特化した、参加型の音楽フェスです。初代優勝バンド「Galileo Galilei」や「ねごと」、「ザ・サラバーズ」「オカモトズ」など、過去の出場者たちが続々とメジャーデビューを果たし、業界内外共に、高い注目を集めているばかりではなく、今や、学校の軽音楽部、音楽の専門学校の年間行事に組み込まれるなど、音楽を志す若者たちにとっての登竜門イベントとなっています。

今年も1万組を超えるデモテープ応募から、審査により選ばれた9組の10代アーティストが、9月2日(日)日比谷野外大音楽堂のステージでパフォーマンスを披露。雨の中、会場には、全国から10代リスナー約8000人が集結しました。



今回も、「LISMO WAVE」およびケーブルテレビにて生中継を実施したほか、新たな試みとして、スマートフォン向けに音楽配信も実施。auスマートフォン向けのストリーミング型音楽サービス「うたパス」にて閃光ライオットチャンネルを提供しました。

今回グランプリに輝いたのは埼玉県出身の19歳、4ピースバンド、「バンクス」。

感じたこと、思ったことを、全てをストレートに叫ぶパフォーマンスがオーディエンスの心を掴みました。

#### ◎ 南アフリカソーラーカーレースの模様を速報

地熱エネルギーや太陽光、風力や水力など、近年、自然エネルギーの本格的な必要性に注目が集まっていますが、そんな最中、TOKYO FMでは、ある自然エネルギーの可能性を迫及する“チャレンジストーリー”にスポットを当て、スペシャルプログラムを放送致しました。

南アフリカで開催されている世界最長距離を走破するソーラーカーレース「サソール・ソーラーチャレンジ」。

2008年以来隔年で開催されており、9月18日より第3回大会が開催されました。

2008年、2010年の過去2大会では、日本の東海大学チームが2連覇を達成しています。今年も新エネルギー時代に向け、世界から、知力と技術を駆使して自動車を開発した東海大学を含む11チームが参加。行政府首都のプレトリアをスタートし、南アフリカをほぼ一周する約5000kmのコースで、定められた昼間の時間での総走行距離を競いました。

東海大学ソーラーカーには、パナソニック株式会社が、太陽光の電気への変換効率が高い太陽電池と安定した充電・放電を実現するリチウムイオン電池を提供し、チームをサポートしました。

TOKYO FMでは、大会開催の9月17日（月）～28日（金）までの2週間、番組制作部の高橋ディレクターを現地に派遣し、レース同行取材を実施。連日全国ネット番組やワイド番組で、東海大学チームのチャレンジを、技術者はじめ様々なスタッフの夢に向かう苦闘と情熱のストーリーとしてレポートしました。

東海大学は、今回も1位でゴールし、見事3連覇を成し遂げました。



## 議題2: 番組試聴 (約14分)

【番組名】 JA共済 presents 「おふたりさま」

パーソナリティ: 恵 俊彰      ゲスト: ①石田純一、東尾理子 夫妻  
②サンドイッチマン (お笑いコンビ)

【放送日時】 ①2012年4月1日(日)・8日(日) 15:30～15:55 \*全国38局ネット  
②2012年9月23日(日) 15:30～15:55

### 【番組概要】

夫婦、恋人、親子、兄弟、親友、同級生、幼馴染、先輩と後輩、先生と生徒、師匠と弟子、コンビ…

とある絆で結ばれた、かけがえのない「おふたりさま」をゲストにお迎えします。

ふたりが出会い、そして今にいたる物語を恵俊彰がほぐしていきます。

ふたりの間に流れるかけがえのない時間＝絆

リスナーはふたりの時間に寄り添い、ふたりを固く結びつける絆に触れます。

人と人が出会い、人生が変わったときに得る大切なものを、日曜の午後全国にお送りしています。

### 【番組の聴き所】

リスナーの案内役、恵俊彰の前に登場した「おふたりさま」。

おふたりがどんな関係なのか、ふたりの間に流れるかけがえのない時間を恵さんが辿っていきます。リスナーがふたりの絆に触れた後、番組のクライマックスが待っています。番組の名物「本音スピーク」のコーナーです。

### 【本音スピーク】

互いに流れる時間を恵さんに掬いとられた「おふたりさま」、番組スタッフからヘッドホンが渡されます。ヘッドホンからは爆音で音楽が流れていて、外の話は全く聞こえません。どちらか片方の方にヘッドホンをしてもらい、もうひとりの方に恵さんから、相手について、ある質問がされます。お互いが“そのこと”についてどう思っているか、本音がリスナーに語られます。「おふたりさま」はお互いの本音が聞けません。リスナーだけが、それを知ることが出来ます。そして、番組では数々のマジックが起こります…

2012年4月1日(日)から始まったこの番組、  
本日お聴き頂くのは、初回の石田純一・東尾理子夫妻、最新のサンドイッチマンの回です。

## 【委員の意見および社側説明】

（「○」委員意見／「■」社側説明）

○おなじみの二人の仲の良い様子は伝わったが、「新しい何か」を引き出している感じがなく、少々退屈だった。番組が二人から何かを引き出す触媒になっているかというのが疑問だ。聴いていて嫌な思いは全くないが、番組の持ち味がないように感じた。

○日曜の午後にはちょうどいいゆるさの良い番組かもしれないが、クリエイターとしてはつまらない。キャスティングも質問も含めてすべてが予定調和という印象。接点が想像つかない意外なおふたりさまの組み合わせで、話すテーマも二人の絆の話ではなく、例えば、人の“潮時”について、夢を諦めて現実に帰る瞬間、または辛抱して後に花開いた人のエピソードなど、同じテーマで語り合える内容だと、聞き応えが全く違ってくるのではないかと。

また、「本音スピーク」を目的とするなら、例えば「30分 NO 編集」を売りにして、誓約書を書かせるなどの特徴を作り、ギリギリの発言をさせるような作り方もあると思う。ただ、日曜の午後の、スポンサー番組ということを考えると、心地よいのかなとも思う。

○ひとつは、二人の組み合わせとして、夫婦、恋人、親子、兄弟はやめた方がいい。出てくる話に予測がつく。文藝春秋でやっている「同級生交歓」のように組み合わせに意外性がないと、こういう話を続けられても苦しい。人選によるところが大きいと思う。また、「本音スピーク」は面白くなかった。本音というほどでもなく、家庭内の話を聞かされても、という印象。構成し直した方が良いのではないかと。

もう一つの難しさは、2人にするすることで、より騒々しくて饒舌になってしまうことだ。笑いでごまかしたり、「いえいえ、とんでもない」という言葉の連発で中身が薄くなっているように思った。

○やはり人選に意外性がなく、人に興味がないとそれで終わってしまう。facebook をやっているとは意外な共通の知り合いが分かって面白いと感ずることがあるが、夫婦、兄弟、親子などだと、美談にならざるを得ない。意外性が加われば番組として可能性があるのでは、今は設定に問題があるように思う。

○「おふたりさま」という概念は非常に興味深い。おふたりさまという人間関係は基本的な関係だが、番組としてはやはり、社会学的属性ではない「おふたりさま」を発見して、提示してくださるというのが、番組としては魅力的なのではないかと。

意外な関係を見つけ出すところを示してくださると、新鮮な発見になり、興味深いものになるのではないかと。いろいろな二人の組み合わせを展開しやすいテクノロジーの時代にあるので、ある二人が結びつき、その焦点となる事柄について話を展開していくと、聴取者に新鮮な気持ちを与えるのではないかと。

○意外な組み合わせを発見するのは難しいので、誰か一人をターゲットにして、その人の交友関係を聞き出して、面白い組み合わせを発見していく必要がある。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送:番組「JOG LIS RUN GIRLS SUNDAY」  
10月28日(日)6:00～7:30 放送
- ② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会を、11月13日(火)に開催することを決めた。